

- 区分
- A 中小都市、過疎地など【人口10万人未満の自治体】
- 時間的空白の解消
- 他分野による交通事業の活用
- 地域・移住×交通
- 医療・介護・福祉×交通
- 商業・農業×交通

対象地域

- 地域：三重県多気町 明和町
- 人口：35,899人
- 世帯数：15,424世帯
- 高齢化率：33.02%
- 面積：143.99km²
※2町合計の数字

背景・お困りごと

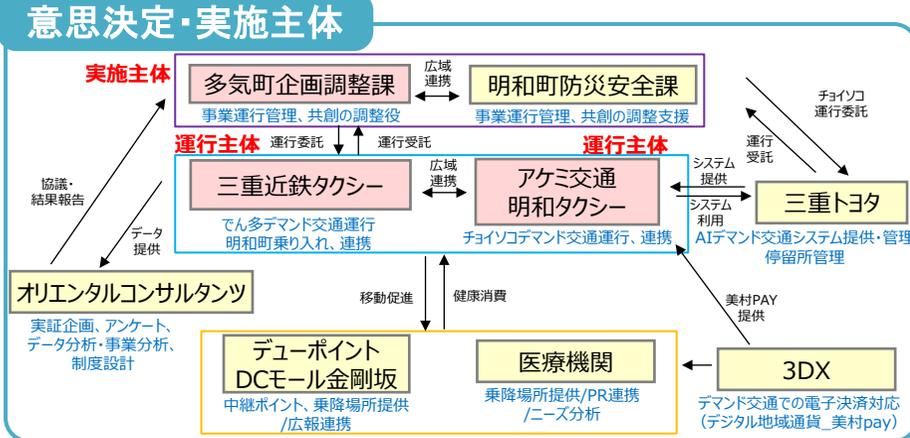
- 現状、多気町から明和町のクリニックや商業施設への移動や、明和町から多気町の交通結節点や商業施設への移動ニーズがあるが、**両町を跨ぐ路線バス等の公共交通がなく、少子高齢化が進む地域であり、免許返納後の高齢者や運転免許を持たない中高生等の移動確保が課題**となっている
- 両町ともデマンド交通をそれぞれ運行しているが、多気町側がAI未対応であること、両町の利用対象者が異なることから**連携することのハードル**があった

実施内容

2つの町で同一のAIデマンド交通システムを導入した、広域連携の交通サービス

- ### 概要
- モード：AIデマンド交通(道路運送法第4条許可)
 - 予約方法：電話予約・Web
 - 料金：1人1乗車300円

- ### 重要ポイント
- 多気町と明和町の境界寄りに**中継地点**を設け、AI機能で連携することで、**両町のサービスの乗り継ぎ**を実現
 - もともと各町で連携は取れていたが、各町の既存運行の条件が異なり、連携にハードルを感じていたため、**毎週対面会議**を基本としたことで、回を重ねるごとに意見も活発となり、事業推進に効果的であった
 - **運行時間や対象者は両町の運行負荷が小さいほうの採用**を基本とした
 - **効果検証に必要な情報は多岐にわたるため、システムデータ・利用者アンケート・運転士ヒアリングなど様々なチャネルから収集**を行った
 - 多気町では、データ取得のために**会員制**としたことで**利用のハードルが上がり**、想定よりも利用が伸びなかった要因の一つと考えられる



運行実績・成果

- 運行期間：2024/10/25～2025/1/18
- 利用者数：273名
(多気でん多:162名・97運行、明和チョイソコ:111名・64運行)
- 平均乗合人数：1.26人/1運行

運行実績

収入	26,450円 (多気町デマンド「でん多」の運賃収入のみ)
支出	9,644,993円 (広域連携の制度設計、AIデマンドシステムの構築・広域連携予約・運行等の設定、広報・利用促進活動、アンケート調査とりまとめ等)
ランニングコスト	6,154,000円 (運行費用)
損益	▲15,776,193円 ※多気町・明和町が負担 (共創・MaaS実証プロジェクトを活用)

- ### 成果
- アンケート結果より、**外出回数の平均0.45回/週増加し、約81%の利用者が外出意欲が増加**した
 - **民間路線バスのないエリアでのデマンド交通の広域連携**により交通空白が解消され、買物や通院のほか、親類・知人等との交流機会の増加といった効果が見られ、**外出機会の増加**に繋がった

今後の事業展開

- 実証運行でのアンケート結果や、運行経費と利用料金による収益性等を検証しながら、広域連携の方法、範囲、利用対象者、他分野との共創によるサービス拡大、適切な料金設定などへ反映し継続展開し、デマンド交通車内での広告費徴収や、停留所のある店舗からの協賛金を運行経費の原資に充てるなど、受益者負担による持続可能な公共交通サービスを目指す